

オムツが必要とされる理由

特別養護老人ホーム 森町愛光園
入居サービス課
東西通り 渡邊 玲香

はじめに

『オムツに排泄されることなく、
トイレで排泄できるのにオムツを
当てているのはどうしてだろう。』

利用者の希望？ 職員の思い？

- 目的
- ・オムツの必要性を検討
 - ・オムツに対する考え方を知る
 - ・オムツの無駄を削減する

方法

- ① 現在オムツを使用しているが、トイレでの排泄が可能な対象者を選ぶ。カンファレンスにてオムツを外しての生活の可否を検討
- ② 職員へオムツに関するアンケートを実施
- ③ アンケートの調査結果を基に勉強会を開催

実施及び結果

- ① 対象者紹介
 - ・Aさん ・80歳代女性 ・介護度3
 - ・コミュニケーション可能 ・便意・尿意あり
 - ・トイレには車椅子を自走し、ナースコールで呼ぶことができる
 - ・左片麻痺により、車椅子⇄便座への移乗、衣類の着脱に介助を必要とする
 - ・布パンツに尿とりパッドを使用している



①Aさんへの取り組み 1

- ・2週間パッドを当てた状態でトイレでの排泄を継続する → **パッドへの排泄は見られない**
- ・カンファレンス実施
 - 排泄時間** 排尿は1回/1時間
排便時は2~3回/1時間
 - 生活時間** 絵を描いている時やテレビを見ている時は早めの声かけ

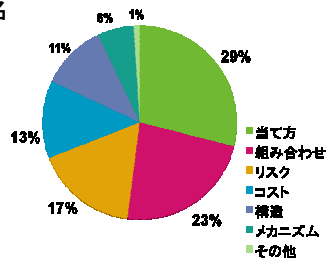
①Aさんへの取り組み 2

- ・パッドを外して2週間後、再評価
 - 漏れることなく、トイレでの排泄が出来ている
 - 日中は**パッドを外す**ことでケアを統一
 - だが、**1ヶ月後...**
 - Aさん:「おしっこがちよびちよび出て気になる」
 - 漏れや失敗は見られない
 - 再びパッドを当てての生活となる
 - Aさん:「**オムツを着ける方が安心するだよ**」

②アンケート調査及び結果

- ・質問数 3問
- ・配布 職員37名
- ・回収率 96%
- ・Q1.
オムツの勉強会

ではどんなことを
学びたいですか。
(複数回答可)



③オムツの勉強会開催

- ・オムツ業者Aによる
勉強会を開催

- ・内容
オムツの構造
オムツの当て方
ギャザーの使い方



考察 1

オムツの必要性

安心感や不安感からオムツを希望し、トイレを心配せず、他者との交流を円滑にしたり、趣味の時間を過ごしたり、落ち着いた日常生活を送るために、Aさんにとってオムツは**生活の一部**であり、必要性があったのではないかと考えられる。

考察 2

オムツに対する考え方

ただオムツを替えるというケアから、
漏れを防ぎ、利用者が快適に過ごすためのケアへ

オムツの無駄を削減

利用者に適したオムツが使用されているか検討し、
職員の介護技術の向上が、今自分たちが取り組むことのできるオムツの無駄の削減

まとめ

その人と向き合うこと

どんな人なのだろう

どのような生活を望んでいるのだろう

ケアを見直すこと

どうしてこのようなケアをしているのか

本当にそれでいいのか

ご静聴ありがとうございました